

夜間舗装工事における安全管理について

平成29年度(一)南伊豆松崎線舗装補修(修繕)工事(排水性舗装工)(11-01)

下田地区

丸三工業株式会社

主執筆者：植松直也(技術者番号)

現場代理人：山田誠司

主任技術者：山田誠司

1、はじめに

当工事の現場は、伊豆半島最南端の南伊豆町に位置する一般県道下田松崎線です。

地方都市の市街地幹線道路で、県道沿いに町役場、コンビニ、スーパーマーケット、病院、旅館ホテルなどが点在し、通りそのものが商店街であり住宅街でもあります。また二級河川の青野川が町の中心部を流れる観光地です。



本工事の施工にあたり夜間作業時の安全管理について紹介します。

2、工事概要

工事名：平成29年度(一)南伊豆松崎線舗装補修(修繕)工事(排水性舗装工)(11-01)

工事箇所：賀茂郡 南伊豆町 下賀茂地内

工期：平成30年2月6日～平成30年3月23日

発注者：静岡県下田土木事務所

工事内容：施工延長 L=150m 施工面積 A=956 m²

路面切削 t=10 cm 基層工 6 cm 表層工(排水性) 4 cm、

3、現場における問題点、課題

道路幅員は狭く最大でも約 6 メートル、最小にいたっては 4 メートルしかなく、更にそこには路線バスが発 6 時 14 分～最終便 21 時 42 分まで運行しており、片側交互通行規制がかけられないのが課題となり、また市街地幹線道路での舗装工事で夜間規制を掛ける為、一般通行車両や近隣住人に過度のストレスを掛けてしまうのも懸念された。

暗く視界の利かない中での作業時現に、場内での作業員の手元の事故防止や、重機への接触事故の防止、一般車両による第三者災害の防止等の安全対策も課題となった。

4、対応策

交通規制について

施工区域を路線バス・緊急車両と区域内住人以外の『夜間全面通行止め』にすることとしました。また規制の際、不測の事態が起きないように夜間全面通行止め及び迂回路の周知を、工事起終点に設置した予告看板にて通行車両に知らせ、消防・警察・タクシー及びバス会社には、資料配布や訪問説明にて、近隣住民や近隣事業所には挨拶回りにて、工事着手の 2 週間程度前より行いました。挨拶回りの際に近隣住人に工事日のスケジュールを確認し、現場内から車両の出入りの有無を把握、更に頻繁に出入りする方の負担を軽減する為に規制外に臨時駐車場を確保しました。

第三者災害の防止措置について

近隣住人車両の出入り・路線バスが通過する際には作業を一時中断して、専用の交通誘導員を配備し誘導させ、現場内での第三者災害の防止安全対策としました。



作業員の安全確保について

作業員の夜間作業時の視界確保と重機オペレーターの視界確保・死角範囲削減の為に、施工範囲内に等間隔で 5 基の大型バルーンライトを設置し明るさを確保した。また作業箇所には、左右両路肩に小型で移動できる軽量のバルーンライトを左右 1 基ずつ設置し、手元作業時の事故防止措置としました。



通行止め規制起終点に大型のバルーンライトを1基ずつ設置し規制箇所をアピールすることで一般車両の施工区域内への飛び込み事故を防止すると共に、交通誘導警備員の存在を目立たせ交通誘導警備員の安全確保を行いました。



一般通行車両や近隣住人に過度のストレス対策について

通行規制に対するストレスを少しでも軽減し親近感が湧くように、PR 看板に南伊豆町のご当地ゆるキャラの『いろいろ男爵』を使用したり



事前測量等で現場に居る際は、道行く人に積極的に笑顔で声掛けを行い、相手から質問を受けた時は快く応じ、工事に対するイメージアップを心掛けました。

おわりに

本工事は、事故もなく災害もなく無事に完成することができました。これも協力者の方々や現場の従事者が一丸となって安全対策に取り組んだおかげであると思っています。

発注者、公共施設関係者、交通関係会社、地域住民の皆様のご協力ありがとうございました。